



大阪府中央会情報連絡員報告

府内中小企業の景況

2022年
7月

1. 7月のDIは、全9指標のうち6指標が低下、主要3指標は、売上高10ポイント低下、収益状況16ポイント低下、業界の景況は9ポイント低下している。
2. 7月末時点では、製造業では5指標のDIが低下し、また非製造業では4指標のDIが低下している。

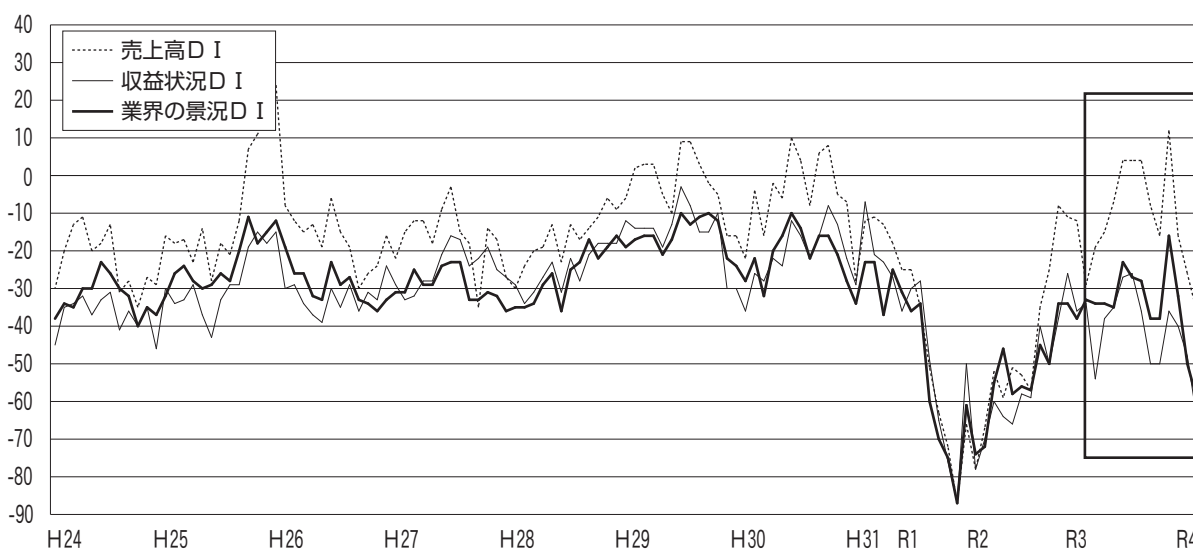
景況天気図

令和4年 7月分	全産業			製造業			非製造業			30以上 快晴
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	
売上高	△26 	△36 	↘ -10	△15 	△20 	↘ -5	△44 	△60 	↘ -16	10~29 晴れ
在庫数量	18 	12 	↗ -6	14 	14 	→ 0	33 	0 	↗ -33	9~△9 うす曇り
販売価格	13 	12 	↘ -1	14 	13 	↘ -1	11 	10 	↘ -1	△10~△29 くもり
取引条件	△22 	△24 	↘ -2	△22 	△26 	↘ -4	△22 	△20 	↗ 2	△30~△49 雨
収益状況	△48 	△64 	↘ -16	0 	0 	→ 0	△56 	△70 	↘ -14	△50以上 大雨
資金繰り	△26 	△14 	↗ 12	△29 	△20 	↗ 9	△22 	0 	↗ 22	
設備操業度	△29 	△33 	↘ -4	△29 	△33 	↘ -4				
雇用人員	△4 	△4 	→ 0	0 	0 	→ 0	△11 	△11 	→ 0	
業界の景況	△50 	△59 	↘ -9	△46 	△58 	↘ -12	△56 	△60 	↘ -4	

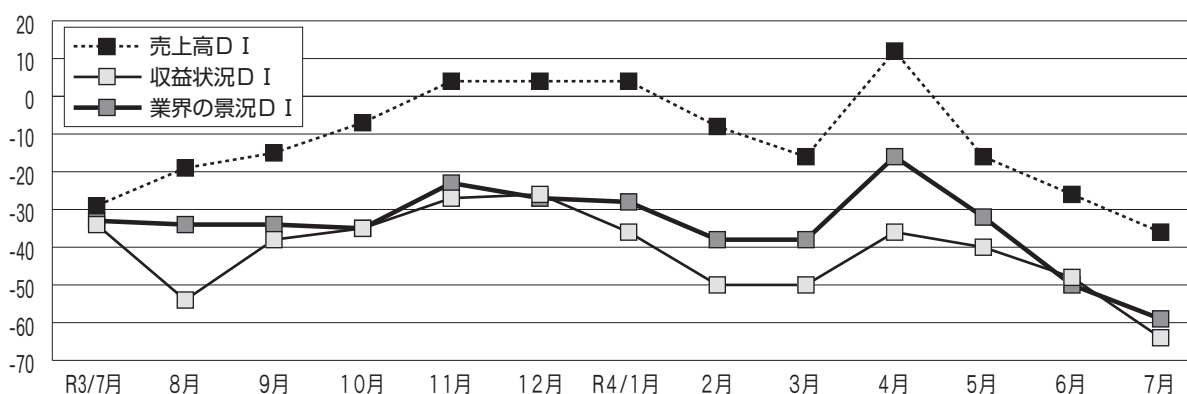
天気図の見方…各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を引いた値をもとに作成。その基準は右記のとおりです。ただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方向に表しています。

DI (Diffusion Index: ディフュージョン・インデックス) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から、「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いて求める。

全産業 H24年7月～R4年7月のD Iの推移



全産業 R3年7月～R4年7月のD Iの推移



業種別概況 (7月分)

【製造業】



水産食料品製造業

ウクライナ情勢の影響によりガソリン代や梱包資材等が値上がりしているなかで、組合員の多くは配達や商品の梱包にかかる経費を転嫁することができない状況に置かれている。



綿・スフ織物製造業

綿糸価格が短期間で200%以上上昇し、これ以上上昇すると予想されるエネルギー価格、副資材等すべての物が値上げし続けているため、電気代・糊付代・運賃等の値上げ分を製品価格に転嫁することが困難な状態で業界の景況は悪化している。



木材加工業

前年同月と比べて売上高はわずかに増加しているが、消費者の客足が伸びず業界としては、依然として悪化傾向である。



古紙収集加工業

新聞古紙の発生は、夏枯れの影響を受け非常に悪く、業界全体としての景況は悪化している。



製本業

長期化するコロナ禍による需要減少、加えて原油価格

の高騰に伴う資材の値上がりや物流費の高騰などの影響により売上高は減少し、業界の景況は悪化している。

シール印刷業

原油価格の高騰や製造コストの上昇で価格転嫁が進まない状況が続いており、卵パック、ハムソーセージ等の連パック、冷蔵・冷凍向けが堅調に推移しているが、環境対策を理由にPOPラベルが減少し、取引条件・収益状況は悪化している。

セルロイドプラスチック製品製造業

前月比20%増となるも前年比では15%減であり、売上高や収益状況は一段と厳しさが増している。

石鹼洗剤製造業

手洗用液体石鹼、酸素系漂白剤はコロナ特需の反動減が続いているが、合成洗剤は台所用、住宅家具用共に前年数字を上回り順調に推移している業界全体としては、原材料等の高騰によるコスト増の影響を受け、景況は悪化している。

鍛造業

生産量は前年同月とほぼ同等であるが、主力の自動車用が先月から連続して前年割れであり、当面収益悪化が懸念される。エネルギー費の高騰が大きく影響する業種であるため、価格転嫁がスムーズに行われない状況が続けば、経営状況が大きく悪化することが懸念される。

建築金物製造業

新設住宅着工戸数(前月比2.1%増)、全建築物の着工床面積(前年同月比1.8増)とも底固く推移している。

産業機器製造業

原材料及び副資材、運賃等の値上げを客先に対して反映させることが難しく収益を圧迫しており、業界の景況は悪化している。

印刷製本機械製造業

この数か月同じ状態が続いているが、半導体を中心とした部材・部品不足が顕著になっている。完成品にならない仕掛品が増え、在庫が増加、資金繰りが悪化している。業界の景況感は極めて悪い。

【非製造業】

電気機器卸売業

一部部材の供給不足については、徐々に改善方向にあるものの未だ品不足の影響は大きく工事遅延・着工延期等は解消されていない。エネルギー資源並びに原材料の高騰化に、部材不足・円安が加わって経常利益の圧迫等先行きへの影響が懸念されている。

衣服・身の回品卸売業

急速な円安により海外委託製品等の原価が値上がりし、利益に大きく影響している。繊維業界は、コロナ禍で購買意欲は弱く、販売価格も抑えられており、収益状況、景況とも悪化している。

二輪自動車小売業

人気車種の展示がないため、来店者数の減少など需要が低下し、業界の景況は悪化している。

地質調査業

業界としては景気が安定している。

警備業

ウイズコロナの下で社会経済活動が再開され昨年まで中止されていた花火大会や祭り等のイベント開催の兆しが見えてきたものの、電気やガソリン等のエネルギー価格高騰が売りに上げに影響を及ぼし、収益状況は悪化している。

建設業

工事関係の受注はほとんどなく業界の景況は悪化している。

タイル工事業

材料費の値上がりが工事の利益率に影響を及ぼしており、業界の景況は悪化している。

貨物運送業

前年同月に比べ引越件数と販売価格がやや減少した。引越資器材や燃料価格の値上げは続いている中、転嫁が進まなくなっているため収益状況は悪化している。